

鏡野町森林づくり協議会から 提言書が提出されました

平成28年12月、鏡野町森林づくり協議会(会長：三木敬臣氏)から提言書が提出されました。この提言書は、鏡野町森林づくり協議会と作州かがみの森林組合が昨年7月に実施した「森林を所有している方への意向調査」の結果を基に、森林づくり協議会において「鏡野町森林づくりに関する補助金制度等」としてまとめたものです。



平成28年12月7日 三木会長(左)から提言書を町長に提出

提言書の提言内容(抜粋)

「森林整備」について

- 平成16年の台風後の復旧事業が実施されている中、除伐・枝打ちの最も必要な時期が到来しています。これら除伐・枝打ちに対して国県補助金は少なく、個人の負担額が多くなかなか進まないのが現状です。これら除伐・枝打ち作業を同時に実施した場合、20万円/haの補助制度を提言します。

「森林循環促進」について

- 搬出運賃が高騰する中、間伐運搬費の上乗せ助成について、現在1,000円/㎡の補助を1,500円/㎡へ増額を提言します。

「木材需要拡大」について

- 木造住宅の需要が減少する中、鏡野町内に自らが居住する住宅を新築する場合、町産材を使用し町内の工務店で建築を行う場合など条件設定し、段階的に補助金額を上げていき最高200万円/件の補助を提言します。

鏡野町森林づくり協議会活動 H28.11.7少花粉スギモデル林植樹のつどい

